国語科　小学校第五学年　⑥　【活用問題】

偉人の生き方を読む 〈郷土の偉人〉	組　番	氏名

ひろしさんたちは、国語で伝記について学習し、単元の最後に自分が選んだ伝記を読んで、感想を発表し合う学習をすることになりました。そこで、ひろしさんは図書館に行って郷土の偉人（※1）である児玉久右衛門と後藤勇吉の伝記を読むことにしました。

次の文は、児玉久右衛門と後藤勇吉という二人の偉人について書かれた文章です。その二つの文章を読んで、あとの問いに答えましょう。

※1　偉人とは、すばらしいことをして、多くの人から尊敬される人のこと

【児玉久右衛門について】

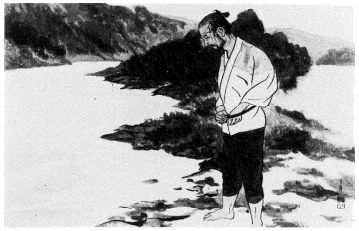
児玉久右衛門は江戸時代の一六八九年、西都市に生まれました。その頃、久右衛門が生まれた地域では、田んぼが少なく、日でりが続くと農作物も育たず、人々はとても貧しいくらしをしていました。それを見た久右衛門は、村人のために一ツ瀬川の水を田んぼに引くことができないかと考えました。

久右衛門は、高台にのぼって村の土地の様子を調べ、何十日もかかって用水路を作る計画を立てました。その計画を村人に理解してもらうために、毎ばん、家々を回りましたが、だれも賛成してくれる人はいませんでした。中には、いぜき（※2）をつくると、大雨の時にひ害がでると言ってて反対する人もいました。

村人の反対にあいながらも、久右衛門は用水路づくりの工事をなんとか始めました。一日一日少しずつ用水路はのびていきましたが、大雨のために苦労して積み上げたいぜきが流されてしまうこともありました。それでも、久右衛門はあきらめませんでした。

しばらくして、かりたお金や、自分の家や畑を売ってつくったお金も使いはたしてしまった久右衛門は、たいへん困りました。そのとき、黒木弥能右衛門という人がお金を貸してくれました。そうして、久右衛門は八年という長い年月をかけて、用水路を完成させることができました。用水路からは多くの田んぼに水が引かれ、お米がとれるようになり、村人のくらしもよくなっていきました。

七十二歳で久右衛門はなくなりましたが、村人たちは、久右衛門の努力に感謝の気持ちをこめて、銅像を建てました。



【資料提供：西都市】

※2　いぜきとは、川の水をせき止めるところのこと

【後藤勇吉について】

後藤勇吉は、延岡市に生まれました。小学生の頃は、空に関係した神話やおとぎ話に興味をもち、中学生になると、機械に興味をもち始めました。そして、飛行機で飛びたいという夢をもつようになりました。

子どもの頃、勇吉は、お母さんにしかられるほど、夜遅くまで三角定規やコンパスを使って機械の設計図を夢中になってかいていました。そして、子どもながらに、じょう気（※3）の力で動く精米機を完成させて、家族の人々をおどろかせました。

それから、勇吉は空を飛びたいという夢に向かっていろいろなことに挑戦しました。高いお金を払って飛行機をかりて、門川町の海岸で飛ぶ練習を始めました。しかし、かん単に飛ぶことはできません。半月たって飛べなくても、あきらめずに工夫しながらがんばりました。すると、ついに飛ぶことができたのです。

（二枚目へ続く）

大正時代の一九二二年、二十七歳のときに、勇吉は、岐阜（ぎふ）県から東京までの二百五十マイル（※４）を二日間にわたって、飛行機で飛ぶことができました。また、昭和時代の一九二七年では、日本一周に挑戦して、なんと九日間で成功することができました。

さらには、宮崎の野菜を全国で買ってもらえるように、勇吉が飛行機で運ぶことになりました。勇吉は自分のふるさとのためにと思い、かぼちゃなどの宮崎の野菜を飛行機に積んで、無事に大阪に届けることができました。新鮮な宮崎の野菜はとても喜ばれ、「日向かぼちゃ」は大人気になりました。

※３　じょう気とは、水じょう気のこと

※４　一マイルは約一・六キロメートル

【資料提供：延岡市内藤記念館】

※参考「みやざきひむか学ネット」

（一）　ひろしさんは、児玉久右衛門と後藤勇吉の二人の**生き方に共通する部分**があることに気づきました。共通する生き方とはどんなことでしょうか。あてはまるものすべてに〇をつけましょう。

①（　　）自分のふるさとのために役に立とうとがんばっている。

②（　　）自分の好きなことに取り組んでいる。

③（　　）宮崎県に生まれている。

④（　　）困難なことにぶつかってもあきらめずやりとげようとしている。

（二）　ひろしさんは、発表する活動に向けて、この文章を読んだ感想をまとめようと思います。あなたは、この二人の「生き方」についてどんなことを感じましたか。児玉久右衛門か後藤勇吉のどちらかを選んで、次の条件にしがたって感想を書きましょう。

条件

・　選んだ偉人（いじん）の生き方について、自分の経験をふまえて書く。

・　七十五字以上、百五字以内にまとめて書く。

（　**児玉久右衛門**　・　**後藤勇吉**　）**について**　　※どちらかを〇で囲みましょう。

105字　　75字